**令和３年度社会福祉法人しいの木会事業報告　　資料②**

**◆法人事業報告**

　令和３年度は、昨年に引き続きコロナの影響を大きく受けた１年であった。活動は制限されたが、時期を選び、日帰り旅行や行事を実施することができた。

現時点で、コロナ感染症クラスターの発生はなく、休業には至らなかった。今後も、感染予防や発生した場合の対応等については検討していく必要がある。

就労継続支援B型は、感染予防の観点から「在宅作業」を希望する利用者に対応した。しかし、介護保険への移行や他施設への入所等により利用者は４名減となっている。

プチ・シーモックについては、経費、人件費、収益等を考えると継続は難しいと判断した。年度末で閉鎖し、菓子製造はシーモックに集約することとした。

菓子の売り上げについては、イベントの中止や販売機会は減少傾向だが、注文販売やインターネット販売、シーモック店舗での売り上げ増、新たな販路や大口注文があり、大きな落ち込みはなかった。

生活介護については、４月より1名の利用（週１日）が始まったが、年度途中で２名の利用が終了しており、平均利用率は減となっている。

平均利用人数は昨年と比べ、就労継続支援Ｂ型は３．９名の減、生活介護は１．２名の減となり、収入は減っている。

水質については、令和３年３月に井戸自体に浄水器を付ける方法を取り入れたことで、安定しているが、費用面を考えると、糸久で新たな給水設備を整備し、定員増を図ることは難しいと感じている。

グループホームについては２名の入居・１名の退居があり、年度末での入居者は

１１名となっている。また、ホームどんぐり利用者の障害支援区分の重度化に伴い、簡易型スプリンクラー設備を導入した。これにより、重度者入居率の上昇にも対応ができるようになった。また、８月から短期入所事業（空床型）を開始し、通所利用者の緊急の受け入れ先として機能することや体験的利用など福祉サービスの充実が図れた。

　　　　　　　　　　　　（役員会等の実施状況）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施日 | 種別 | 参加者 | 決議事項 |
| 6月8日 | 理事会 | 理事6名/ 5名  監事2名/ 2名  会計責任者1名 | ・令和2年度事業報告および計算書類等の承認  ・令和3年度事業計画および予算の承認  ・評議委員候補者選定  ・評議委員選任・解任委員選出  ・理事・監事候補者選定 |
| ６月９日 | 評議員  選任・解任委員会 | 監事1名  外部委員1名  事務局1名  理事2名 | ・委員長の互選  ・評議員の選任 |
| 6月19日 | 評議員会 | 評議員8名/ 7名  理事2名  会計責任者1名  陪席者6名 | ・令和2年度および計算書類等及び財産目録  ・令和3年度事業計画および資金収支予算  ・理事、監事選出 |
| 6月19日 | 理事会 | 理事6名/ 6名  監事2名/ 2名  会計責任者1名 | ・理事長および施設長の選定  ・積立金の取り崩し  ・給与規定の改定 |
| 11月17日 | 理事会 | 理事6名/ 6名  監事2名/ 2名  会計責任者1名 | ・退職給付引当資産の取崩  ・ホームどんぐりスプリンクラー設置  ・補正予算  ・プチ・シーモック廃止について |
| 11月27日 | 評議員会 | 評議員8名/ 7名  理事2名  会計責任者1名 | ・補正予算の承認  ・プチ・シーモック廃止について |
| 3月16日 | 理事会 | 理事名　6名/6名  監事名　2名/2名  会計責任者1名 | ・第2回補正予算の承認  ・給与規程の改定  ・令和4年度事業計画の承認  ・令和4年度当初予算の承認 |
| 3月26日 | 評議員会 | 評議員名8名/8名  理事2名  会計責任者1名 | ・第2回補正予算の承認 |

**◆シーモック事業報告**

今年度もコロナの影響でイベント等が中止となり、販売や納品の機会が減ったが、インターネット販売や注文販売、新たな販路を開拓することで売り上げが大きく落ち込むことはなかった。また、作業の効率化を図るため、土曜営業日を利用し菓子製造を行った。プチ・シーモックについては、利用者の減少や店舗維持のコスト面を考慮し、令和４年３月３１日で閉鎖した。利用者の特性に合わせたグループへの配属変更や作業種について職員で話し合いを重ね、３月２８日より新体制での活動を開始した。

**各部署の報告**

1. 就労継続支援B型（定員４０名・利用者４５名）　　　　※（　）は前年数

就労継続支援B型の年間の平均実利用は、1日当たり

シーモック２６．６名（３１．５名）　プチ・シーモック７．４名（６．４名）

　　　　　　　　　　　　　計３４．０名（３７．９名）

≪シーモック≫

1. 調理室　　 （利用者１０名）
2. 袋室　　　 （利用者１３名）
3. ２グループ （利用者１４名）

≪プチ・シーモック≫　（利用者８名）

1. 生活介護（定員７名・利用者８名）

生活介護の年間の平均実利用は、1日当たり

６．５名（７．７名）

**◆相談支援事業報告**

サービスの更新や新たなサービスを希望された時、アセスメント・モニタリングを行い、サービス等利用計画書の作成を行った。

計画書の作成数は延べ５６件、（６２件）

モニタリング実施数は延べ１０８件（１１６件）だった。

（現在相談支援を受けている人数）

　　・シーモック利用者４２名（４３名）

　　・法人外からの依頼１２名（１２名）

**◆日中一時支援事業報告**

余暇活動の年間の平均実利用は、1日当たり　２８．５名（３１．５名）

土曜日を利用し余暇活動を年１２回実施した。コロナ感染予防の観点から密にならないよう１０月まで半数に分け実施したが、緊急事態宣言明けの１１月からは通常の活動体系で実施した。

（活動内容）季節の飾り作り、デザート作り、室内レク等

**◆グループホーム事業報告**

年度当初の利用者は、ホームどんぐり３名、ホームたんぽぽ７名の計１０名

でスタートした。ホームどんぐりでは、体験利用を経て７月に１名が利用となったが、利用日数が少なく年度末で入居利用を終了とし、短期入所での利用に変更することとなった。ホームどんぐりは障害支援区分の高い利用者が増加してきたため、今後を踏まえスプリンクラー設備を導入した（２月初旬）。

ホームたんぽぽでは、８月に1名（６０代女性）がご家族の入院により短期入所を利用した。その後、ご家族の施設入所が決まり、１０月から入居となった。また、１１月末にご家族からの申し出で1名が退居となっている。

**短期入所事業**

緊急時の受け入れや体験的利用等を想定し、８月から短期入所事業（空床型）を定員２名で開始した。ホームたんぽぽは２名の方が利用し、うち1名が入居につながった。ホームどんぐりは1名が定期的に体験的利用を行った。

　　　　　 （本年度の短期入所利用）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 | たんぽぽ | どんぐり | 備　考 |
| 60代女性 | 53日 |  | R3.10より入居 |
| 20代女性 | 2日 |  |  |
| 20代男性 |  | 26日 |  |

　　　　　 　（入居者状況）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 日 | たんぽぽ | どんぐり | 合 計 |
| 4月 1 日 | 7名 | 3名 | 10名 |
| 7月 1 日 | 7名 | 4名 | 11名 |
| 10月 1 日 | 8名 | 4名 | 12名 |
| 12月 1 日 | 7名 | 4名 | 11名 |
| 3月31日現在 | 7名 | 4名 | 11名 |